

	スポーツ祭東京 2013 に向けて (事前案内)
	全国障害者スポーツ大会 “ソフトボール” “フットベースボール” 競技リハーサル大会に、東京都と5県2市のチームが参加!
と き	5月25日(土) 午前9時30分～午後5時30分
と ころ	都立光が丘公園野球場(光が丘4-1-1)
<p>25日に、全国障害者スポーツ大会のソフトボール、フットベースボール競技リハーサル大会を、都立光が丘公園野球場で開催する。この大会は今年10月に行われる<u>全国障害者スポーツ大会本大会の関東ブロック予選会を兼ねるため</u>、選手、監督、大会関係者ともに力の入った大会となる。ソフトボールは茨城県、埼玉県、さいたま市、千葉県、神奈川県、横浜市の6チーム、フットベースボールは茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県の4チームが参加する。また開催地として出場権を持つ<u>東京都もオープン参加</u>をし、交流試合を行う。</p>	
  スポーツ祭東京 2013「ゆりーと」	

【スポーツ祭東京2013とは】

本年東京都で行われる「第68回国民体育大会」と「第13回全国障害者スポーツ大会」を一つの祭典として開催する大会の総称である。練馬区では国民体育大会の「銃剣道」と、全国障害者スポーツ大会の「ソフトボール」「フットベースボール」を実施する。

【全国障害者スポーツ大会とは】

都道府県持ち回りで国体終了後に国体の開催県で行われる障害者スポーツの全国的な祭典。障害のある選手が、競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的としている。主催は、厚生労働省、公益財団法人日本障害者スポーツ協会、開催地都道府県・指定都市、開催地区市町村。

【競技について】

全国障害者スポーツ大会のソフトボール、フットベースボールは知的障害のある選手が出場する競技である。ソフトボールに関しては一般のルールとほぼ同じであるが、振り逃げ、盗塁、スクイズ(3塁ランナーがいるときのバント)は認められない。

フットベースボールはゴム製のサッカーボールを使用し、ピッチャーは両手でボールを転がし、キッカーはそのボールを蹴る。蹴った後はソフトボールのルールを基本とする。守備側がピッチャーズサークル内でボールを保持するとランナーの進塁がストップされる「停止球」というルールもあるため、いかにピッチャーズサークルまで早くボールを運ぶかが重要となり、チームの連携、駆け引きが求められる。前回のぎふ大会では、東京都チームは準優勝した。

【競技補助員・大会ボランティア】

競技補助員として都立第四商業高等学校、都立光丘高等学校、都立田柄高等学校の生徒約60名が競技運営をサポートする。また大会運営ボランティアとしてボーイスカウト約30名が選手や大会関係者をサポートする。

【問い合わせ】区民生活事業本部地域文化部スポーツ振興課国体準備担当係 電話 03-5984-3555